

# 一般質問

市政全般にわたり14人の議員が質問  
(紙面の都合により要旨を掲載)

**中澤議員**(日本共産党)  
地球温暖化防止について  
地球温暖化抑制の国際協定  
である「京都議定書」で日本  
は、温室効果ガスについて  
一九九〇年比で六%削減  
する目標を掲げながら、  
逆に六・二%ふやしてお  
り、この人類的課題を果  
たす責任を投げ捨てるも  
のとなつています。

二酸化炭素排出量の九  
〇%がエネルギーに由来  
することから、も化石石  
燃料偏重から自然エネル  
ギーの利用拡大が力ギと  
なります。ところが、国  
は住宅用太陽電池パネルの設  
置補助制度を一九九四年から  
行ってきたが二〇〇五年に  
廃止してしまいました。本市

## 太陽光発電への補助復活を

先日のテレビで「後期高齢者  
医療制度を凍結する勇気が必  
要」と言っております。七十  
五歳以上の方々には戦中・戦後  
国家のために頑張り、今日の  
平和で豊かな社会の基礎を築  
いてくださった社会の功労者  
です。全額税金で補ってあげ  
るべきであり、これだけ  
評判の悪い後期高齢者医  
療制度は凍結すべきと思  
います。市長の所見を求  
めます。

**市長** 太陽光発電補助制度  
の復活は今後の状況をみて十  
分精査します。ひまわり・パ  
イオ等の関係は難しさもある  
ので検証させていただきます。

**沖本議員**(市民連合)  
後期高齢者医療について  
本市の後期高齢者のうち、  
年間所得が七百五十万円以上の  
方々は百三十人。後期高齢者  
数が七千八百五十四人です。か  
ら、わずかに一・六六%です。  
この一・六六%の方々の総所  
得額は約二十四億円。全体の  
総所得額が約七十一億八千万  
円ですから、実に総所得の三  
十三・七%を占めています。

このように後期高齢者医療  
制度の保険料は、高額所得者  
ほど保険料の負担が軽く、低  
所得者ほど負担が重いという  
逆進性が極めて大きいもので  
す。国に対してこうした制度  
の問題をはっきりと指摘して  
いくべきだと考えますが、市  
長の見解をお聞きします。

**市長** 逆進性のお話がある  
ございましたが、広域連合等  
へも意見のあったことは上げ  
ていきたいと思っております。

**沖本議員**(市政クラブ)  
市道十三号線整備について  
市道十三号線の道路整備に  
関しては渋滞緩和の観点で前  
回よりも進捗が速くなると  
思っています。

## 市道13号線の総合整備を

都市部長 桜の木は昭和二  
十年代後半から三十年代初頭  
に植えられたもので、ほとん  
どの木が寿命を迎えている状  
態です。平成十五年に樹木診  
断を行い、その状態の悪  
さゆえ職員が通常のパー  
トロールを実施しており  
ます。また、今回の倒木  
事故を受け再度詳細な調  
査も実施しています。安  
全第一であり、私どもと  
しては危険な桜は切りた  
いと思っております。しか  
し、独善的に切るわけに  
もいかないため、地元の  
方々のご理解を求めてい  
きたいと考えています。

## 保険料の逆進性を問う

**上沢議員**(公明党)  
安全安心のまちづくりにつ  
いて  
平成十九年三月に改定され  
た地域防災計画には、在宅の  
要援護者対策として、自治会  
長を始めとして自治会員及び  
民生委員等は、市と協力し災  
害時要援護者を的確に掌握  
し、地図や名簿の作成に努め  
ること。また、ひとり暮らし  
や寝たがりの高齢者世帯につ  
いては、日ごろから隣近所や

自治会が交流を持ち、あらか  
じめ相談先や連絡先の確認を  
しておき、さらに目や耳の不  
自由な人は、情報の提供や避  
難の援助をお願いする人を事  
務所に登録し、災害時要援護  
者名簿を作成する。また、災  
害時要援護者名簿の作成時期  
を明らかにし、関係機関と協  
働して作成を進めること。ま  
た、災害時の要援護者登録申  
込書を送付し、本人の意思確  
認を行うこと。また、災害時  
に要援護者が発生した場合に  
は、関係機関と連携して対応  
すること。以上が、地域防災計  
画に盛り込まれていることと  
思っています。

**市長** 障害福祉課、長寿介  
護課におきましては、対象者  
の抽出は既に終わっているわ  
けでございます。対象者全員  
に対しまして同意書を添付し  
て、災害時の要援護者登録申  
込書を送付し、本人の意思確  
認を行うこと。また、災害時  
に要援護者が発生した場合に  
は、関係機関と連携して対応  
すること。以上が、地域防災計  
画に盛り込まれていることと  
思っています。

**山本議員**(政和会)  
障害者の就労支援について  
障害者にとつて就労は、収  
入を得るだけではなく社会に  
参加することにより、生きが  
いや働く喜びを得るなど大き  
な利点があります。

**障害者に働く場の確保を**  
会的な義務が生じるとともに  
仕事になれるまで多大な時間  
を割かなければならないとい  
う指導の面での問題です。そ  
こで、仕事になれるまでの間、  
ジョブコーチ派遣制度の導入  
を是非実現してもらいたいと  
思います。例えば、老人ホー  
ムのような福祉的な施設で、  
配膳などの簡単な仕事をマン  
ツーマンで指導するジョブコ  
ーチをつける制度をとれば、  
受け入れ側も安心ですし、障  
害者雇用につながり、可能性も  
一層広まり、障害者も安心し  
て戸惑うことなく仕事を習熟  
することができるともメリッ  
トは大きいと思っております。  
本年五月から市の就労相談  
員が配置されることになりま  
したが、その相談員と連携を

**安斉議員**(自民党明政会)  
後期高齢者について  
後期高齢者医療制度を見直  
すべきとの声が多く持ち上  
がっています。これだけ苦情  
の多い制度について、広  
域連合役員会の席上、苦  
情や意見などの話題が出  
なかつたものか伺います。  
また、二年間で広域連合  
に支払った本市の負担金  
はいくらになるのか。  
七十五歳以上の方は、  
「もつたない、物を大  
切に働けばおてんとう様  
と米の飯がついて回る、  
上を見て下を見ても切  
りがない」と教育された  
方々です。それを知らない厚  
労省官僚は、七十五歳以上の  
方々をもはや用済みとばかり  
に切り捨て、うば捨て山をつ  
くつたような施策であり、自  
民党の元幹事長、古賀さんも

## 後期高齢者医療制度について

この制度に対する安斉議員  
の考えを決して否定するもの  
ではありませんが、医療保険  
制度の将来や持続的・安定的  
な運営を確保していくことは  
絶対に必要であると考えます。

**牧嶋議員**(無党派)  
ごみの減量化・資源化につ  
いて  
海老名市本郷にある焼却施  
設の継続使用が可能となつた  
ことから、今回の一般廃棄物  
処理基本計画において、ごみ  
の焼却施設を平成三十年まで  
継続使用するとして計画が示

**積極的な取り組みを!**  
されました。一方、地元の方  
々との協議においては、現段  
階では、継続使用の決定には  
至っていません。ごみの焼却  
を直接行っていない本市は、  
より一層燃えるごみの削減に  
対し、積極的な取り組みを進  
めることが急務と考えます。  
今回の基本計画では、平成二

十三年度、その他プラスチック  
と廃食油の分別収集を実施  
するとしていますが、この計  
画にはない家庭から出る剪定  
枝についても資源化を図るこ  
とが必要と考えます。

また、高齢化が進む中、現  
在、ふれあい収集を実施して  
いる自治体がふえてきていま  
す。本市の取り組みについて所  
見を求めます。

**市長** 剪定枝については先  
回よりも進捗が速くなると  
思っています。

**3面へ続く**